

BIM/CIM推進委員会の設置について

CIM導入推進委員会での成果

- 平成28,29年度は「CIM導入推進委員会」として産官学が一体となり、ガイドラインを始めとする基準類、ECI方式で発注した事業への積極的な導入や受発注者育成、国内データ交換等の方針決定の役割を果たしてきた。

■ 委員会で審議された主な基準類

	要領名等	概要	細別
平成28年度	CIM導入ガイドライン（案）	CIM事業での受発注者の標準的な役割等を規定。	新規
	CIM事業における成果品作成の手引き（案）	CIM成果の納品方法を規定。	新規
	リクワイヤメント	CIM活用による発注者の要求事項を明文化。	新規
平成29年度	3次元モデル表記標準（案） ※共通編、土工編、構造編（橋梁）	CIMモデルの契約図書として求める仕様を規定。	新規
	土木工事数量算出要領（案） ※240工種中、56工種を3D対応に改定	CIMモデルによる積算区分に応じた算出方法を規定。	改定
	CIM導入ガイドライン（案）	地盤、設備関係を拡充。	改定
	CIM事業における成果品作成の手引き（案）	格納するモデル種類のルール化等を追記。	改定
	リクワイヤメント	契約図書化、情報連携に関する事項等を更新。	改定
	情報共有システム機能要件	業務版の情報共有システム要件を規定。	新規

■ 委員会で審議された主な施策

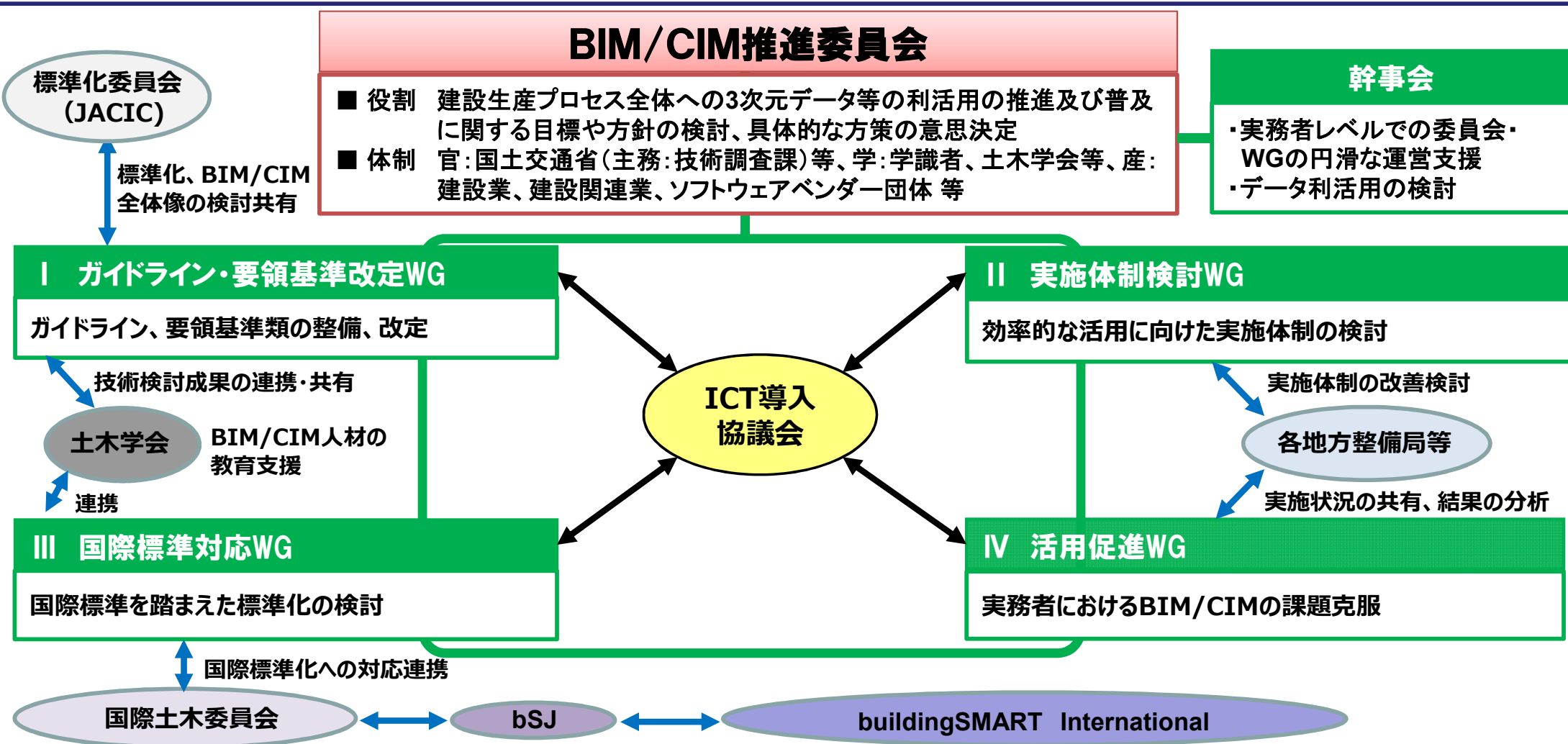
- CIMの特性を踏まえた発注方式
- 国際動向を踏まえた検討体制
- 発注者への教育



中国,中部地整にて**ECI方式**で発注した事業に導入
国際土木委員会の設置
 国交大において**発注者BIM/CIM研修**の実施

BIM/CIM推進委員会の設置について

- 平成30年度における検討にあたっては“BIM”の国際的な進展状況を踏まえるとともに、CIM導入後の3次元データの利活用による生産性向上を検討するため「BIM/CIM推進委員会」と改称し、体制を再構築する。
- 具体的な施策の検討にあたってはWGを設置するとともに相互に連携をはかる。



※ BIM/CIMとは、Society5.0における新たな社会資本整備を見据え、建設生産・管理システムにおいて3次元モデルを導入し、事業全体で情報を共有することにより一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図ることをいう。

BIM/CIMに関する運営体制(案)

- H29年度までのCIM導入推進委員会での検討を踏まえ、4つのWGを再構成。
- 建設生産・管理システムの3次元データ活用等による生産性向上の議論を加速化させる。

~H29年度

H30年度~

CIM導入推進委員会

BIM/CIM推進委員会



改称

- 建設生産プロセス全体への3次元データ等の利活用の推進及び普及に関する目標や方針の検討、具体的な方策の意思決定

CIM導入推進委員会・WG体制

BIM/CIM推進委員会・WG体制

WG	検討項目
ガイドライン・要領基準改定	○ ガイドライン、要領基準類の整備、改定
CIM実施体制検討	○ CIMの効率的な活用に向けた実施体制の検討（ECI方式等）
国際標準対応	○ 国内のデータ交換標準の検討及び国際動向の把握・共有
現地での検証	○ CIM活用業務・工事のフォローアップ

WG	検討項目（・はH30検討項目）	学	産	官
ガイドライン・要領基準改定	○ ガイドライン、要領基準類の整備、改定 ・CIM導入ガイドラインの拡充 ・3次元モデル表記標準の拡充 ・土木数量算出要領の拡充	小林委員 蒔苗委員 ◎ 皆川委員 矢吹委員	●	●
実施体制検討	○ 効率的な活用に向けた実施体制の検討 ・3Dモデル契約図書化の制度検討 ・3Dオブジェクトの供給 ・教育、技術者育成検討 （・リクワイアメントの設定方法の検討）	◎ 小澤委員 木下委員 皆川委員 矢吹委員	●	●
国際標準対応	○ 国際標準を踏まえた標準化の検討 ・国内のデータ交換標準 ・BS,PAS1192を踏まえた国内対応 ・国際動向の把握・共有	建山委員 ◎ 矢吹委員	●	●
活用促進	○ 実務者におけるBIM/CIMの課題克服 ・受発注者双方のフォローアップや改善分析 ・活用効果の定量的な評価指標の検討 ・データ流通・利活用に向けた環境整備	-	●	●



継続



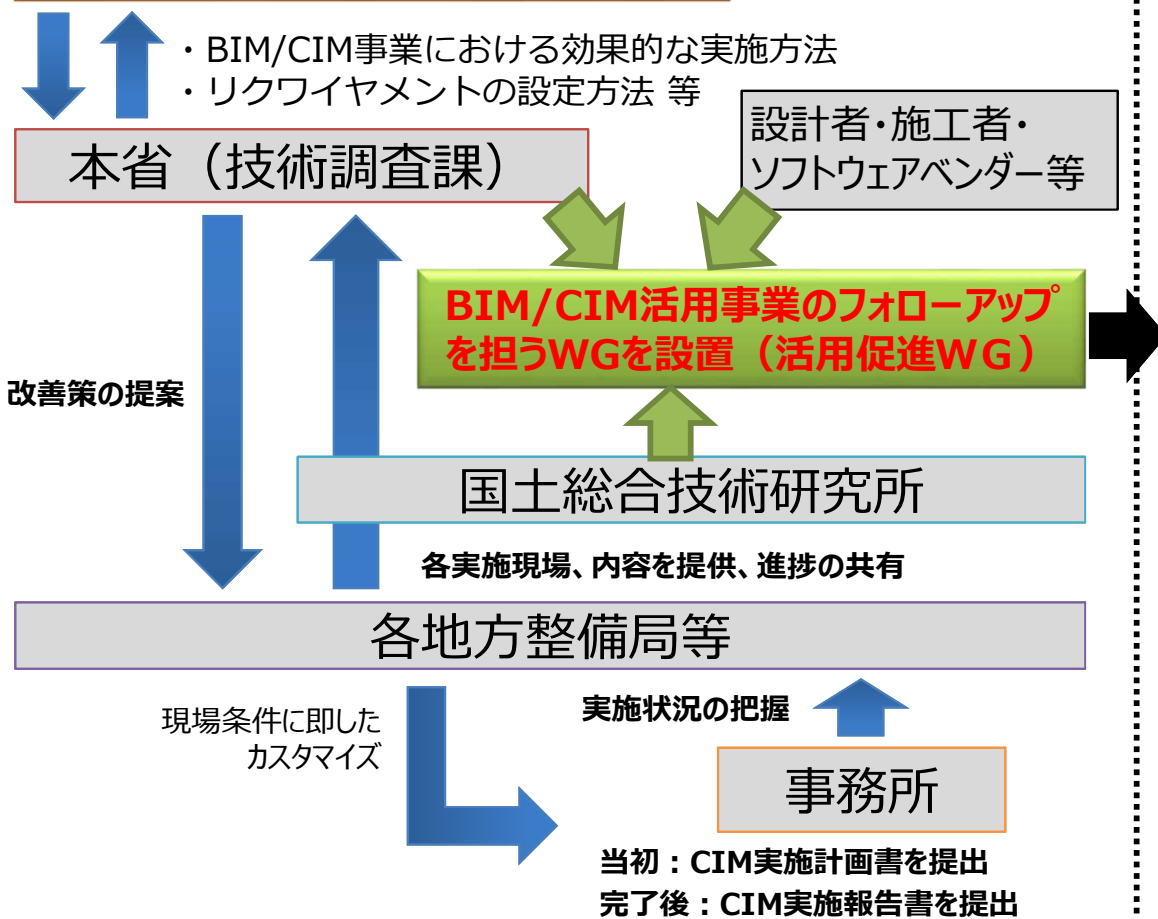
再編

BIM/CIMフォローアップ体制の構築

- 「CIM導入推進委員会」等での意見を踏まえ、H30年度から、ECI方式におけるBIM/CIMの活用状況やリクワイヤメント等の様々な事例を各関係者で検証するためのWG（活用促進WG）を設置。
- 活用促進WGにおいて検討された予定案件への助言検討や結果分析等を踏まえ、「実施体制検討WG」においてリクワイヤメントの設定方法等を検討し、改善策を提案。

BIM/CIMフォローアップ体制

実施体制検討WG



■活用促進WGでの検討テーマ

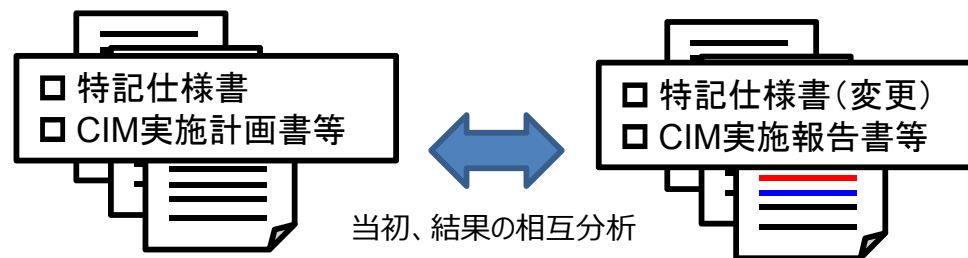
①実施予定の把握、既往の知見による助言

- ・ 実施予定項目について把握、助言
- ⇒過年度の検討結果や最新動向等の知見から具体的な実施内容についてアドバイスを検討。

リクワイヤメント	実施予定状況	
	設計	工事
①契約図書…	…	…
…		
⑥情報共有…	…	…

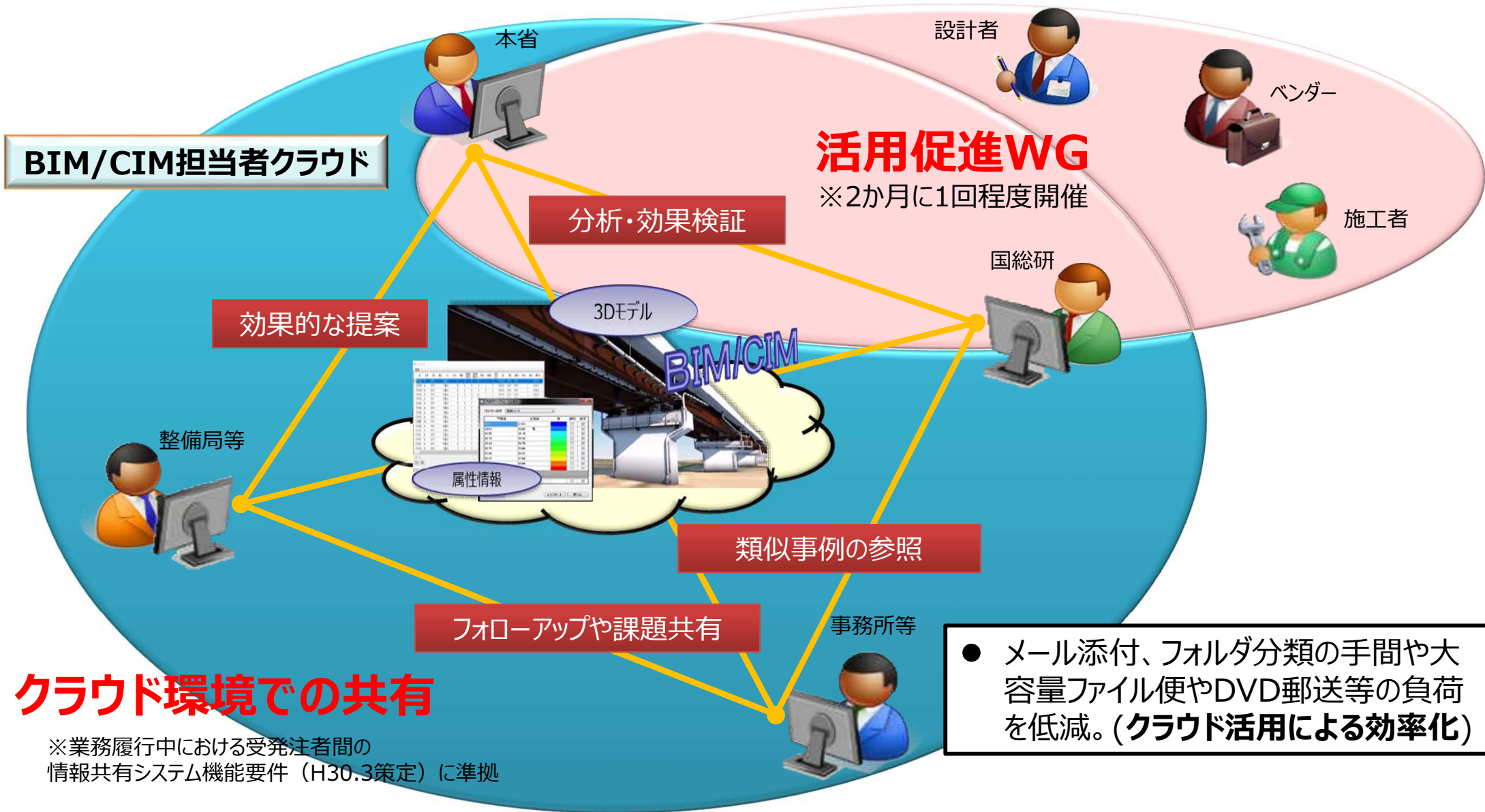
②実施結果の検証、改善点の抽出

- ・ 過年度実施項目について検証
- ⇒当初計画からの変更点やソフトウェアの対応状況等から具体的なリクワイヤメントの評価、次年度に向けた改善等について提案。



活用促進WGとBIM/CIM担当者クラウドについて

- 検証にあたっての行政側のデータ共有は“セキュリティ要件”や“3Dビューワ”等の機能を満たすクラウド環境下で実施（BIM/CIM担当者クラウドの設置）。
- 収集したデータを本省及び国総研を含めた「活用促進WG」において議論、フィードバックを行う。



※業務履行中における受発注者間の
情報共有システム機能要件（H30.3策定）に準拠

BIM/CIM活用モデル事務所設置の検討(案)

○BIM/CIM事業におけるフォローアップにあたっては、過年度の成果品等を確実に蓄積し、施策の全体的な分析のとりまとめを行うとともに、率先してBIM/CIM活用に取り組む事務所において、そのノウハウを次のプロジェクトに活用するため、「**BIM/CIM活用モデル事務所**」の設置を検討。

